

# ロータリーは機会の扉を開く

## Rotary Opens Opportunities

2020-21年度 RI会長／ホルガー・クナーク  
 RI.D2590ガバナー／吉田 隆男  
 横浜旭RC会長／田川 富男

国際ロータリー第2590地区

### 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821  
 TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712  
 http://yokohamaasahirc.cho88.com  
 Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル  
 (榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈



鶴ヶ峰中学職業講話

旭ふれあい区民まつり

2020年12月2日 第2431回例会 VOL. 52 No. 11

■司会 副SAA 目黒 恵一

■開会点鐘 会長 田川 富男

#### ■出席報告

会員数	25名	本日の出席数	20名
本日の出席率	86.96%	修正出席率	91.67%

#### ■本日の欠席者

嶋崎、齋藤、二宮麻理子

#### ■他クラブ出席者

新川 (横浜港南 RC)

#### ■ゲスト

林 悦さん (米山奨学生)

#### ■12月誕生記念祝



五十嵐 正会員	12.20
関口 友宏会員	12.10
目黒 恵一会員	12.18
岡田 隆会員	12.20
嶋崎 宏幸会員	12.25

#### ■米山功労クラブ表彰



#### ■会長報告

前回は私的理由で例会を欠席し、申し訳ありませんでした。愚息が不養生で切れ痔を発病させ、日帰りの痔の手術に付き添いました。手術は30分程度でしたが、術後の送迎の足として便利に利用されました。コロナの時期にメスを入れるのは心配しておりましたが、お陰様で無事帰宅し、息子には今後の養生が大切だよと、言っておきました。

本日は福村先生の卓話です。コロナ第3波の感染リスクを感じている昨今ですが、その不安を煽ってもらうか、または安心していいものなのか、お願いをいたしました。

次回の例会は2020年最終例会となります。当初ではクリスマス家族例会を12/12に計画しておりましたが、コロナの影響で中止、代わりに16日の例会は二俣川ライブのコミュニ

ティーサロンでの開催となります。全員参加の卓話にしたいと思います。

今年はすべてがコロナの渦にかき回された年でしたが、中でも個人的に些細なことや軽微な喜びなどあったことと思いますので、簡単にお話お願い致します。当日は弁当を用意しますが、会場での食事が不安な会員は持ち帰りが出来ます。全員発表ですので、から考えておいて下さい。よろしくお願い致します。

### ■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜瀬谷ロータリークラブ

日時 12月18日(金)通常例会

日時 12月25日(金)休会

日時 1月1日(金)休会

○横浜南央ロータリークラブ

日時 12月22日(火)→18日(金)

夜間クリスマス家族例会

日時 12月29日(火)休会

日時 1月5日(火)休会

○横浜港南台ロータリークラブ

日時 12月4日(金)通常例会

日時 12月11日(金)年末家族会

点鐘 18時30分

場所 トラットリア・ダ・ケンゾー

中区相生町5-78 清栄ビル3階

日時 12月18日(金)通常例会

### ■年次総会

横浜旭ロータリークラブ定款第8条第2節及び最速第5条第1節の規定に基づき年次総会を開催させていただきます。

細則第4条第1節に規定に基づき議長を務めさせていただきます。

会員総数24名、本日の出席者数20名

細則第1条の4の規定により会員総数の3分の1の定足数を満たしていますので年次総会は成立しました。

○審議事案事項

次期役員と理事の選任の件、審議並びに採決をお願い致します。

安藤公一、市川慎二、北澤正浩 目黒恵一

新川 尚、五十嵐正、佐藤真吾、田川富男  
以上8名です。

同意、採決挙手をお願いいたします。

採決の結果、出席会員の3分の2以上の賛成

を得られたものと認め、本議案は可決承認されました。

慎重審議をいただきまして職を辞させていただきます。

■青少年奉仕委員会 新川 尚

ライラ (RYLA) のご案内

日時 2021年5月15日(土)～16日(日)

場所 高尾の森わくわくビレッジ

基調講演 「新しい発見」 鳴海 禎造様

\*申し込みは事務局までお願いします。

■奉仕プロジェクト委員会 市川 慎二

ASAHI オンラインフェスティバル2020 特設サイトが、12/18(金)～26(土)まで開催します。

当クラブの劇、ぜひご覧ください!

■林さん 近況報告 林 悦



こんにちは。12月に入ると、今年もうすぐ終わります。私の三年生の生活も、もうすぐ終わって、四年生の挑戦に直面しなければなりません。私の志望は大学院に進学する事ですが、今から進学の準備を始めようと思っています。

ですから、卒業論文を書き始めました。タイトルは順調に先生と決めました。が実際に書いて、やはり容易なことではないと感じています。初めて5万字の論文を書きますから、論文を書きの構造と研究方法という方面の不足が暴露されました。そして、積極的に先生と相談した後、自分の不足の原因を探しました。今の自分は前より成長してきたと感じています。

この一年の間で様々かつて想像できなかったことが目の前に発生しました。それ故に、さらに自分が把握できるのは現在の時間しかないと感じています。

皆様とこの特殊な一年を過ごして大変お世

話になりまして、とても感動しました。本当にありがとうございました。

そしてメリークリスマスと良いお年を！

■ニコニコ BOX(会員敬称略)

**田川 富男**／本日の年次総会にて慎重審議をいただきまして、ありがとうございました。次年度も宜しく願い申し上げます。

**福村 正**／本日、卓話を担当させていただきます。宜しくお願いします。

**安藤 公一**／①福村先生、本日の卓話宜しくお願いします。②大学ラグビー早明戦は12/6(日)14時からです。NHKでの放送もありますので応援よろしく願いします。

**五十嵐 正**／誕生日祝を頂き有難うございます。ヒタヒタと70の背中が見えてきました。

**関口 友宏**／誕生日祝いを頂きありがとうございます。いい歳になりました。

**目黒 恵一**／①誕生日祝いをいただきありがとうございます。②福村先生、卓話楽しみです。

**岡田 隆**／①誕生日祝をありがとうございます。②福村さん、フォーラム楽しみです。

**吉原 則光**／年末近し、コロナ・コロナの1年ですが、例会は健在です。年次総会順調に、福村さん、卓話よろしく、楽しみにしています。

**宋 謹衣**／福村先生、お久しぶりです。本日の卓話楽しみにしております。宜しくお願いします。

**新川 尚**／福村さん、卓話楽しみです。

**佐藤 真吾**／福村さん、久しぶりですね。疾病予防と治療フォーラム、よろしく願いします。

**兵藤 哲夫**／ガバナー月信の表紙をご覧ください。私の相棒小池将夫(神奈川東RC)の作品です。

■卓話「疾病予防と治療」 福村 正



参考資料(日本内科学会雑誌109巻11号)  
《COVID-19のこれまでとこれから 川名明彦》  
1) COVID-19の出現

2020年は、我が国にとってはオリンピックイヤーとなるはずで、心弾む気持ちで2020年の元旦を迎えた人も多かったと思う。訪日外国人数は2018年には年間3,000万人を突破し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下東京2020大会)をきっかけに4,000万人に到達することも予想されていた。

しかしこの年末年始、中国湖北省武漢市で原因不明の肺炎が多発しこの流行の発端とされた同市の生鮮市場が閉鎖されたのがまさに2020年1月1日であった。そのとき、この疾患、新型コロナウイルス感染症(coronavirus disease 2019:COVID-19)が、まもなくパンデミックとなって全世界を覆いつくすことになろうとは誰が予想したであろうか。

2) 近年の新興呼吸器感染症

20世紀後半、世界で新興・再興感染症に対する関心が高まった。特に1997年、香港で報告された鳥のインフルエンザウイルスA(H5N1)のヒト感染は、社会に大きなインパクトを与えた。本ウイルスが変異によりパンデミックを引き起こす可能性が指摘されたこともあり、WHO(World Health Organization)は各国にパンデミック準備計画の策定を促し、我が国でも準備が進められた。2009年には、実際にA(H1N1)pdm09のパンデミックを経験した。我が国では、2012年に新型インフルエンザ等対策特別措置法が制定され、行動計画も改訂を重ねてきた。鳥インフルエンザや新型インフルエンザ対策は、徐々にではあるが着実に進められてきていたと言える。

一方、インフルエンザ以外で近年人類にもたらしたのがコロナウイルスである。コロナウイルスは、それまで普通感冒(かぜ)の病原体として知られていたが、2003年にはSARS-CoV(severe acute respiratory syndrome coronavirus)による重症急性呼吸器症候群(SARS)が発生した。本疾患は、主に中国や台湾、ベトナム等の東南アジアに被害をもたらした。次いで2012年には、アラビア半島でMERS-CoV(Middle East respiratory syndrome CoV)による中東呼吸器症候群

(MERS) が出現し、サウジアラビアを中心に患者が発生した。同地域からの帰国者に端を発するアウトブレイクが韓国でも発生した。SARS、MERS と、ヒトに重症呼吸器感染症を起こす新型コロナウイルスが2つ続けて出現したが、なぜか3つ目の重症コロナウイルス感染症が出現する可能性については議論が不十分なままであった。

### 3) ハンディキャップを背負ったスタート

未知の新興感染症への準備という点で、本特集号の座談会で尾身茂氏が指摘しているとおり、我が国はハンディキャップを背負ってのスタートであった。中国・東南アジア諸国は、SARS や鳥インフルエンザで大きな被害を受けている。韓国も2015年にMERSのアウトブレイクを経験している。我が国は幸いこれらの疾患を1例も経験しなかったが、そのことが新興感染症対策における油断につながった可能性は否定できない。

また我が国では、早い段階からチャーター便(1月末)やクルーズ船(2月)を介してCOVID-19と対峙することになり、たちまち首都圏の感染症指定医療機関等の医療体制が逼迫するという経験をした。同時に、PCR(polymerase chain reaction)検査のキャパシティや保健所の人員の著しい不足が炙り出された。まさに我が国のCOVID-19対策はマイナスからの出発であったと言える。

### 4) 我が国のCOVID-19対策

ハンディキャップを背負ってのスタートではあったが、我が国では専門家助言組織の参画のもと、政府主導でパンデミック対策が始まった。そこには新しい取り組みが多数含まれていた。実効再生産数を見ながらのリアルタイムでの流行分析や数理モデルに基づいた流行予測が行われ、人と人との接触の制限の提案がなされた。実地疫学や公衆衛生の専門家が流行の現場に入り、感染経路を分析しながらの地道な感染制御が進められた。

クラスターの分析から“3つの密”対策が提案された。このような日本社会全体を巻き込んだ科学的且つ大規模な感染制御は、我が国では初めての試みであったのではないだろうか。

国を挙げて賛否両論の沸き起こった。さま

ざまな対策ではあったが、多くの国民の努力の結果、我が国では、いわゆる厳格なロックダウン等の措置を行うことなく、第1波の《オーバーシュート》をなんとか回避することができた。

### 5) COVID-19のもたらしたもの

しかし、強力な感染対策は、社会に多くの負の影響ももたらした。国際的には、自国第一主義や反グローバル主義が力を得、差別や社会の分断が顕在化したとも言われる。我が国でも国際交流はほぼストップし、訪日外国人数は前年比マイナス99%以上となり、社会経済活動は大きく停滞した。

東京2020大会は延期され、教育、スポーツならびに文化活動も制限を受け、倒産や失業も増えた。しかし一方では、トレードオフの関係にあると思われた感染制御と社会活動とを両立させる《新しい行動様式》の提案やテレワーク、社会のデジタル化ならびにビッグデータの感染対策への応用等、COVID-19流行の長期化を前提とした積極的且つ前向きな対策も進められている。既存の薬のなかから有効性のあるものを探索する試みやワクチン開発は、世界中で恐るべきスピードで進められている。

### 6) COVID-19と共にある内科診療

患者がわざわざ医療機関を受診しなくても済むリモート診療や、サーベイランスシステムのデジタル化は、今後急速に進む可能性がある。我々内科医は、この社会の流れに積極的に関わり、良い意味で受け入れていく必要があるだろう。今また毎日の新規患者数はゆっくり増加しているように見えるが、まもなく季節性インフルエンザの流行シーズンを迎える。COVID-19とインフルエンザの同時流行についても想定して準備する必要がある。

### ■次週の卓話

・1/6(水)休会

・1/13(水)新年 年男の抱負

関口 友宏会員

福村 正会員

齋藤 善孝会員

岩室 紳也様

(ヘルスプロモーション推進センター代表医師)

週報担当 新川 尚